

令和8年3月11日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立大鳥中学校
校長 金澤 誠

令和7年度 目黒区立大鳥中学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

(1) 第1回実施日時 令和7年6月9日(月) 午後2時30分～午後3時30分
・学校評価について

(2) 第2回実施日時 令和8年2月16日(火) 午前10時30分～午前11時30分
・学校評価の結果について
・協議

2 参加者 学校評議員・管理職・主幹教諭

3 評価の結果等

※四者…児童・生徒、保護者、地域の方、教職員のこと。

評価項目	◎(成果)、●(課題)、 ◎(成果と課題の両者を含む)	次年度の教育活動の改善点	学校評価委員会での意見 (学校運営協議会での意見)
I 学校全体について ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて、家庭・地域との連携、地域人材の活用などについて	◎四者ともに学校の雰囲気への肯定的評価が90%以上であり、学校への評価は概ね良好である。 ◎周年行事を通して地域との連携を深めることができた。	周年行事を通して深めた地域との連携を、つながりや地域ボランティア等にかし、地域人材の活用につなげる。	暖かさや優しさのある学校の実現に向けて、学校と地域がより連携をしていく。
II 教育目標について ・教育目標、時程、教育内容全体について	◎教育目標への理解は四者ともに肯定的な評価が昨年度より上昇した。 ◎人権尊重の理念に立った教育目標のもと、教育活動を行うことができた。	人権尊重の理念に立った教育目標のもと、引き続き教育内容の充実に取り組む。	人権教育の推進を引き続き図る。
III 心の教育について ・道徳科の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組について	◎道徳授業地区公開講座での授業参観および協議会での地域・保護者からの多くの意見をいただくことができた。	人権尊重の視点に立った道徳教育のより一層の充実に努める。道徳授業地区公開講座により多くの方々と連携して取り組む。	より多くの保護者や地域の方に道徳授業地区公開講座に参加していただき、道徳教育の理解を図る。

	◎人権尊重の視点に立った道徳教育を実施できた。		
IV 学習指導等について <ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着・向上に向けた授業の改善・充実、習熟度別指導、〇〇タイム、主体的に学習に取り組む態度等の取組について ・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について 	◎学力が身に付いたと実感できた生徒が増え、4.8ポイント増加した。 ◎学習用情報端末の授業や特別活動等の積極的な活用により利用の定着が見られる。	学ぶ意欲の向上や個別最適な学びの実現のための指導方法の工夫を全教職員が積極的に学び、実践を積み重ねていく。	引き続き、学ぶ意欲が向上する授業を展開し、充実した教育活動を実施してほしい。
V 体育・健康教育について <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上、健康の促進に向けた取組について 	◎特別支援学級で朝のランニング等、体力の向上に工夫して取り組んだ。 ●運動習慣の個人差があり、学校での体力向上に向けた取組に対して実感できている生徒とそうでない生徒がいる。	生徒の心身の健康な体づくりへの関心・意欲を高め、栄養士や養護教諭とも連携し、教科横断的に食育や健康教育に取り組む。生徒会の企画を中心に「めぐろ ここカラダ体月間」において生徒発信の体力向上に向けた取組を実施する。	心身の健康な体づくりへの意欲的に取り組めるようにしてほしい。
VI 特別活動について <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の充実などについて 	◎学校行事を通して、生徒たちの主体性や協調性、リーダーシップやフォロワーシップが育っている。 ◎特別支援学級と通常学級との交流、特別支援学級間の交流、特別支援学校との副籍交流等、各種交流をすすめることができた。	特別活動の一層の充実を目指し、各行事について、活動内容を精選してより教育効果を得られるものとしていく。 地域人材の活用など、地域と連携した取組を推進する。より多くの地域の方々に学校行事に来ていただけるよう周知を図る。	学校行事はどれも充実しているように感じる。今年度は周年行事も大変好評であった。特別支援学級は、地域との交流でも大活躍で、地域や保護者の間で評判になっている。
VII 学校生活全般について <生活指導> <ul style="list-style-type: none"> ・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、 	○授業規律の確立と、ルールとマナーを身につけさせる指導を年間を通して意識的に実施することができた。	引き続き、全教職員が共通認識をもって、生徒に寄り添う指導を徹底する。生徒にルールとマナーを身につけさせ、規律	規律ある学校生活を更に充実させてほしい。また、一人一人に寄り添ったきめ細かな対応もお願いしたい。

<p>特別支援教育への取組などについて</p>	<p>●若手教員の増加や不登校対応をはじめとしたニーズの多様化にどう組織的に対応していくかが課題である。</p>	<p>のある学校づくりをしていく。 不登校対応を含めた教育相談体制を充実させ、生徒一人一人の心の安定に力を入れていく。</p>	
<p><防災教育・安全指導> ・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて</p>	<p>◎毎月の避難訓練の活用し、自分の身の安全を守るための態度を育成することができた。 ●SNSによるトラブルは増加傾向にあり、情報モラル教育の一層の充実が課題である。</p>	<p>避難訓練を繰り返すことで万が一に備えて安全かつ効率の良い避難を確立する。 セーフティ教室、安全指導、特別の教科道徳を活用し、情報モラル教育の充実を図る。</p>	<p>SNS トラブルへの対応は、保護者への理解の呼びかけが必要である。</p>
<p><幼・保・小・中連携> ・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について ・近隣の幼稚園・保育園との連携について</p>	<p>◎年間を通して小中連携子ども育成プランを着実に推進できた。職場体験等を通して協力体制を確立している。保護者からの評価も上昇した。</p>	<p>次年度に向けて小中連携子ども育成プランの見直しを行った。学校ホームページに育成プランを掲載、各小学校へのリンクを設定し、情報発信を行う。</p>	<p>引き続き小中が連携して児童・生徒を育成してほしい。</p>
<p>VIII 情報の発信 ・学校の情報発信の充実について</p>	<p>◎学校の情報発信について、保護者地域共に肯定的な評価が上昇した。</p>	<p>引き続き、学校ホームページや Home & School を活用した学校からの保護者への配布物を配信し、更なる情報の共有を図る。</p>	<p>引き続き、生徒、保護者、地域への情報を充実させてほしい。</p>
<p>IX 教員の人材育成について ・日常の職務をとおして専門性と協働性の育成、教育公務員の自覚について</p>	<p>○職員室のコミュニケーションの充実を図ることができている。 ●若手教員の増加と、時代の変化に合わせた教育の質の向上のための研鑽の時間の確保が課題である。</p>	<p>定期的な校内研修の実施、若手教員の活躍の機会の確保を通じて、研鑽し合う環境を組織的に構築する。時間確保に向けた業務の効率化を進める。</p>	<p>引き続き、研鑽を積み、教育活動に活かしてほしい。</p>

<p>X 教員の働き方改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> 校務支援システムの活用、「チーム学校」を意識した業務分担等、組織的な業務の効率化・最適化について 	<p>◎肯定的な評価が令和5年度並みに回復した。校務支援システムを活用した業務の効率化を進めることが要因と捉えている。</p>	<p>更なる校務支援システムの活用および組織的な業務の精選や効率化を図る。</p>	<p>働き方改革により、生徒たちへの対応がより充実していくことを期待する。</p>
<p>XI 服務事故の防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> 服務事故防止に向けた取組などについて 	<p>◎定期的な服務研修の実施やあらゆる機会を通じて呼びかけをすることで教員の意識向上を図った。</p>	<p>服務事故は気の緩みから起こることを銘記し、服務事故を起こさせない職場環境づくりに一層努めていく。</p>	<p>服務事故を起こさない取組は引き続きしっかり行ってほしい。</p>